

# こども食堂

「麻生キッチンリあん」でのこども食堂開設

麻生商店街振興組合 西本香奈江

平成29年3月12日(日)



# あさぶ商店街

(麻生商店街振興組合)

- \* 所在地 札幌市北区麻生町
- \* 人口 約29万人(札幌市北区)
- \* 街区内事業所数 約450事業所
- \* 組合員数 88事業所(個人・団体)
- \* 商店街の類型 地域型商店街

- 1974年 地下鉄延伸を機に組合設立
- 1982年 街路のモール化事業を実施
- 1991年 流雪溝整備を実施
- 2012年 商店街駐車場敷地内に災害備品倉庫を設置
- 2013年 札幌市商店街再生事業(商学連携事業)として  
麻生キッチンりあんを開設
- 2015年 街区内14か所に22台の防犯カメラを設置
- 2016年 りあんは、現在の所在地(北39条西5丁目)へ移転

# 麻生キッチンりあん



- \* 平成24年度札幌市商学連携事業での学生アイデアコンテストにおいて藤女子大学栄養教育学研究室のアイデアが準グランプリを受賞。
- \* 平成25年3月、商店街内空き店舗を利用してプレオープン
- \* 同年8月に正式オープン
- \* **コンセプト**
  - \* ひとり親家庭の子供たちの居場所づくりと学習支援
  - \* 学生の考案によるバランスのとれた食事の提供
  - \* 運営資金としてカフェを併設

# こども食堂りあん開設



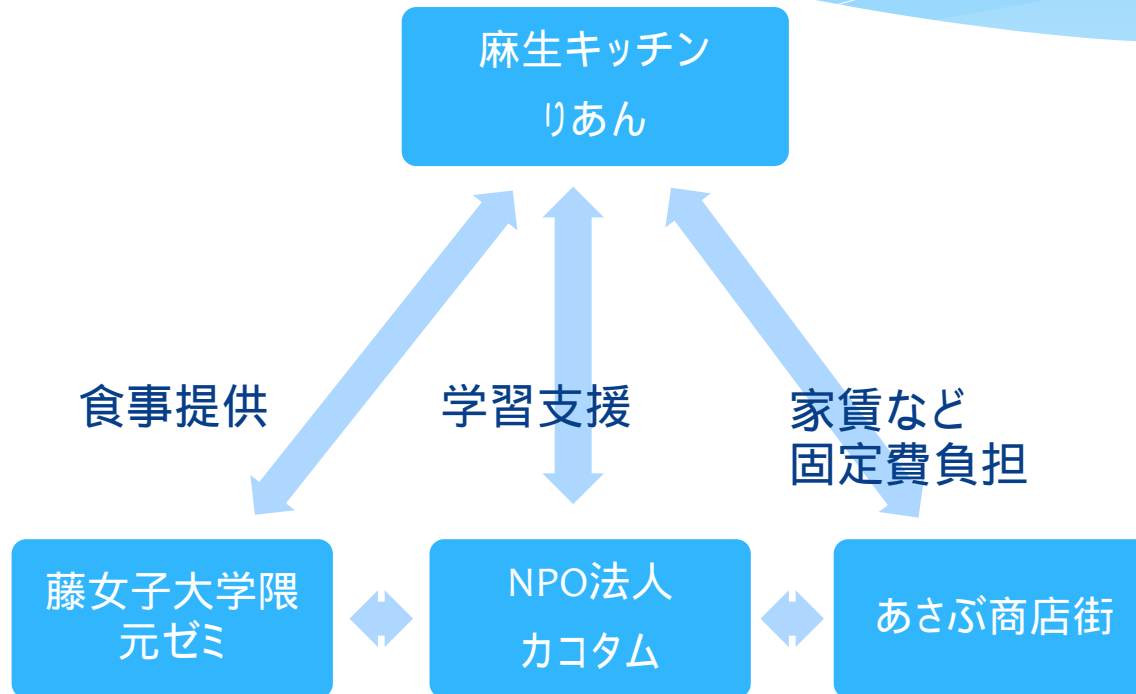
- \* 平成27年秋 企画立案、東京大田区(だんだん子ども食堂)川崎市(子ども夢パーク)を視察
- \* 平成28年5月 りあんにおいて開店
- \* **コンセプト**
  - \* 「子どもが一人でもはいれる食堂なんだ。
  - \* お父さん、お母さんが忙しくて一人でご飯を食べなきゃいけないときは、りあんにおいで。
  - \* みんなで、一緒にご飯食べようっ。みんなで食べたらおいしいよ。
- \* こども(18歳以下) ;100円
- \* おとな ;500円

# こども食堂りあん開設にあたっての 検討事項

- \* 運営体制
- \* 食材の調達
- \* 資金繰り
- \* 広報

# こども食堂りあん開設

## \* 当初のりあん運営体制



# こども食堂りあん開設

\* こども食堂運営

こども食堂  
りあん

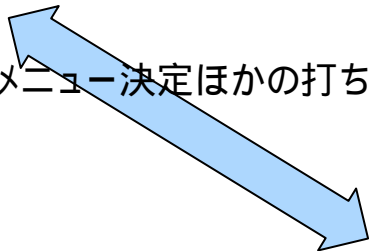
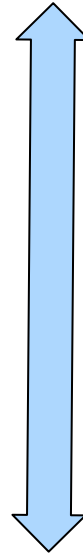
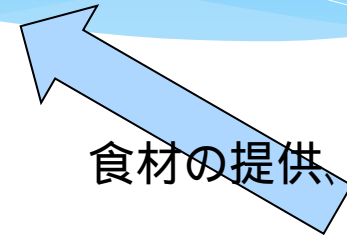
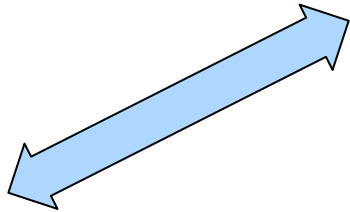
ボランティア

食材の提供、寄付

近隣農家、  
一般のご家庭

担当割、メニュー決定ほかの打ち合わせ

あさぶ商店街





# 運営体制—こども食堂会議



○会議は、商店街担当とボランティアの皆さんで実施  
メニューの決定のほか、問題点や改善点なども話し合います

# 運営体制—ボランティアの皆さん

## 役割分担

調理隊(6名)

ホール隊(3~4名)

片付け隊(1名)



# 運営体制—ボランティアの皆さん



# 食材の調達

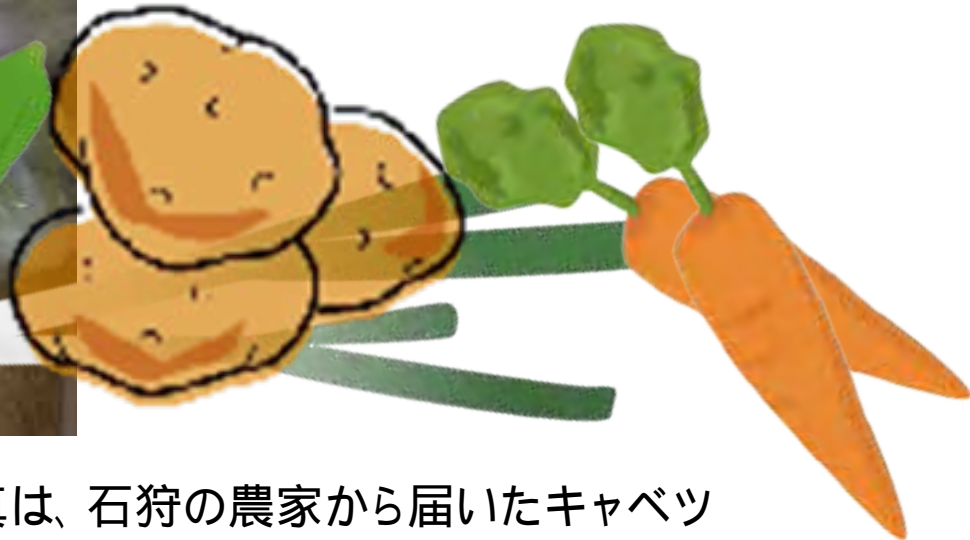
石狩など近隣農家からの寄贈  
家庭からの寄贈

<課題>

フードバンクの利用  
食材の保存・有効利用  
搬入・運搬など



\* 写真は、石狩の農家から届いたキャベツ

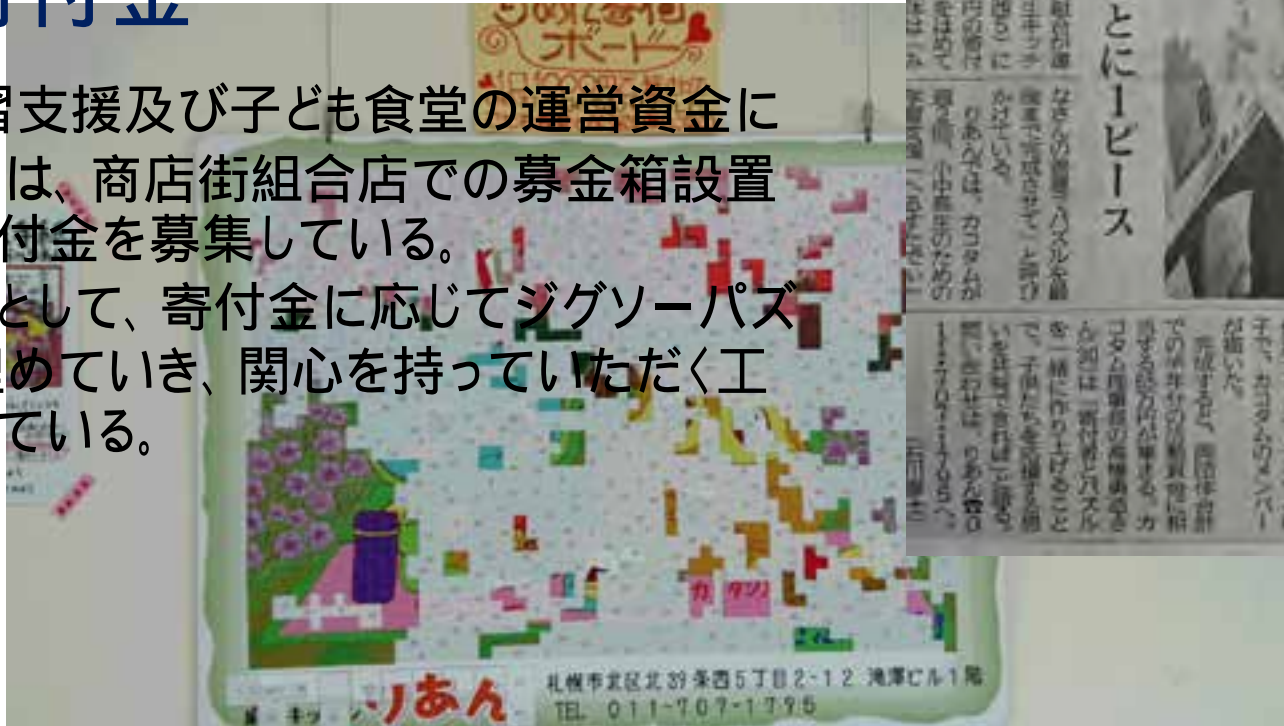


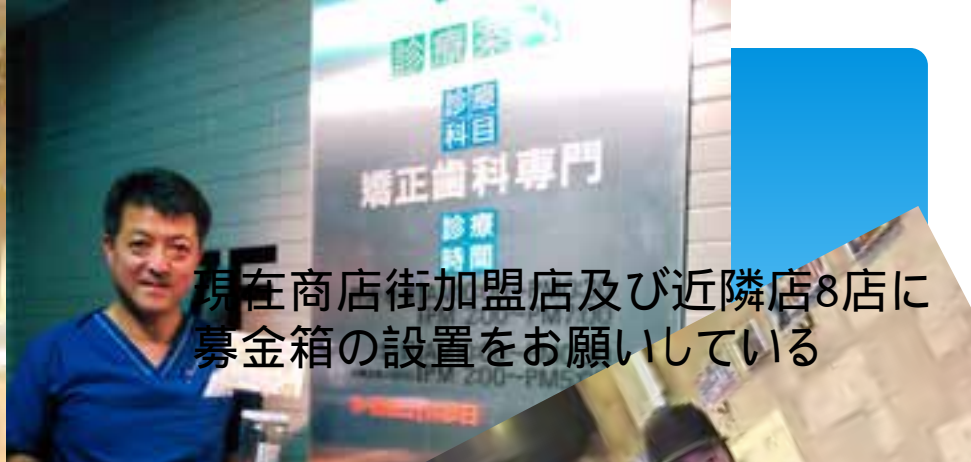
# 資金繰り

## 札幌市補助金 商店街事業費 寄付金

学習支援及び子ども食堂の運営資金については、商店街組合店での募金箱設置や、寄付金を募集している。

試みとして、寄付金に応じてジグソーパズルを埋めていき、関心を持っていただく工夫をしている。





# 広報

毎回2500部のチラシを小中学校、幼稚園、保育園、まちづくりセンター他へ配布

- 新聞
- テレビ
- 北区広報など
- フリーペーパー
- 麻生まちづくり協議会便り  
等で掲載



# これまでの推移

開催日	こども	おとな	ボランティアの皆さん
5月20日	8人	16人	4人
6月17日	9人	13人	5人
7月15日	28人	8人	5人
8月19日	8人	9人	9人
9月16日	27人	13人	10人
10月21日	16人	15人	7人
11月18日	20人	14人	9人
12月16日	30人	16人	10人
1月20日	22人	14人	10人
2月19日	36人	29人	7人



# こども食堂外観



# 開店の様子



# 店内の様子



# 店内の様子



# 店内の様子



# 店内の様子



# ゲームの時間





ごちそうさまでした